

お役に立ちます!



# インクル推進室

令和 3. 7. 21 No. 3

南魚沼市立総合支援学校

インクルーシブ教育推進室

## 学習の困難さを疑似体験しながら学びました

7月7日(水)に教育基礎研修講座①を開催しました。今回は、宮城学院女子大学教授、梅田真理先生から「LDのある子どもへの支援～読み書きが困難な子どもを中心に～」をテーマにご講義いただきました。

参加者の声をご紹介します。



読む・書くという作業がこれほどの力を使っているとは思ってもいませんでした。困難を抱える生徒の気持ちを体験することで、こういった工夫をしてあげたら生徒は気持ちよく学べるかということを考える機会をいただきました。

学習の困難さを体験してみたのは初めてでした。勉強が分からないという理由で不登校になる子どもも多いです。「やればできる」ではなく、子どもが感じている困難さがどこにあるのかをしっかりと観察することが大切だと思いました。その子に合ったやり方を見つける、支援具で補うなど、子どもが楽しく学べる手立てはたくさんあるということも気づかせてもらいました。

一番目からウロコだったのは、デコーディングのことです。音読をさせた後によく意味についての質問をしていたことを思い出しました。音読は上手なのに意味理解ができない子がいたことも思い出しました。今日のお話をお聞きして「なるほど、そうだよなあ…」と納得しました。読むことが苦手な子が多くいるので、指導方法を配慮していきたいと思います。

普段何気なく使っている言葉や生徒への指示など考え直すことが必要だと改めて感じさせられました。少なくとも明日から、複数の作業を同時に行うような指示は避けていきたいと思います。

幼児期のいろいろな体験が基礎となる力を育てることが分かりました。“読む・書く”につなげるために、はさみやのりを使ったり、ちぎったり、泥んこ遊びといった指先を使う動きの大切さもよく分かりました。日々の保育で、楽しく言葉に興味を持てるような遊びを取り入れていきます。

やりやすいやり方を見つけさせる、さらに見つけられるように育てることが大切という話が特に心に残りました。いろいろな支援具を用いることも必要ですが、自分で何に困難さを感じているかを理解し、どうすればその困難さを克服できるのかを自分で探していける子どもを育てていきたいと思いました。

## 相談支援活動 … スタッフが園や学校の特別支援教育を強力にサポート！

相談内容に応じて選ばれたスタッフが、時にはチームを組んで対応。園や学校に出向きます。

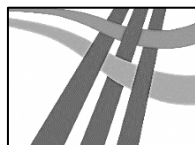
- ・ 特別支援学級担任、保育園や認定こども園の先生をサポートします。
- ・ 研修会講師派遣、ケース会議、諸検査、授業研究、進路相談、就学の相談、保護者対応、…などに  
対応します。
- ・ 必要な時に、必要なだけ何回でも、出向きます。
- ・ スタッフは、特別支援学校や通級指導教室の教員、保健師、社会福祉士、子育て支援センター職員、  
臨床心理士など。
- ・ 電話一本。無料。面倒な手続きは不要です。

# 025-773-3776 (推進室直通)

### スタッフ一覧(順不同)

渡辺美也子	総合支援学校 教諭(室長)	倉上明	学校教育課 指導主事
小林久美子	総合支援学校 教諭	井口暁子	総合支援学校 教諭
上田絵理子	総合支援学校 教諭	山本めぐみ	総合支援学校 教諭
松本純一	総合支援学校 教諭	中川拓也	総合支援学校 教頭
堀口生雄	総合支援学校 教育相談員	田中いずみ	総合支援学校 教育相談員
種村啓子	学校教育課 指導主事	長田美智留	学校教育課 スクールソーシャルワーカー
笹岡るり子	塩沢小学校 教諭	大谷寛	北辰小学校 教諭
今成ゆかり	六日町小学校 教諭	佐藤彩子	浦佐小学校 教諭
関サチイ	保健課 保健師	木村直子	保健課 保健師
君塚篤志	保健課 保健師	齊藤綾子	保健課 保健師
若井公子	保健課 保健師	角谷沙絵	保健課 保健師
高井理沙	保健課 保健師	本間みく	保健課 保健師
松井聖花	保健課 保健師	竹見洸菜	保健課 保健師
岡村汐美	保健課 保健師	青野睦枝	保健課 栄養士
久地浦みゆき	福祉課 社会福祉士		
森下あけみ	子育て支援センター センター長	細矢由美子	子育て支援センター 保育士
定岡聖	子ども若者相談支援センター 臨床心理士		

※ 市内小学校、中学校の特別支援学級担任、特別支援教育コーディネーター、南魚沼福祉会相談支援センターみなみうおぬま相談員も、  
ケースによりスタッフとして相談支援を行います。



## 南魚沼市立総合支援学校

〒949-6615 南魚沼市西泉田 47-2

インターネットで検索！「南魚沼 支援学校」

